

# ほけんだより

令和6年(2023年)2月  
南第三小学校  
保健室

1月29日(月)に6年生を対象とした「いのちの授業」がありました。  
お話をしてくださったのは助産師の近藤陽子さんです。

【1枚の黒く小さい紙が配られ、そこには小さい穴があいています】



この小さい穴は、いのちが始まった時の大きさです。

いのちの始まりの大きさはみんな一緒♪



ちっちゃー!

えー!(\*\_\*)

子ども達は光に透かしてみたり、触ってみて興味津々にいのちの大きさを感じていました。

いのちが始まってから  
1週間後→砂粒  
2週間後→ゴマ  
3週間後→お米粒  
4週間後→小豆  
5週間後→大豆  
6週間後→ピーナッツ  
お腹の中で少しずつ成長していくよ。



赤ちゃんが大豆くらいの大きさの時に赤ちゃんの心臓の音を聞くことができるようになるよ。

リアルな胎内のパネルを真剣に見ていました。

砂粒とゴマってどっちも小さいやん・・・という表情の子ども達でしたが、

「ゴマは砂粒の2倍位あるよね。もし、みんなが1週間後、今の身長の2倍になっていたらどう?」と聞かれると“本当や!”と衝撃を受けていました。お腹の中で一生懸命、頑張っていたんだね♪



赤ちゃんは産まれる時、3つの工夫をしているよ。  
① 骨盤の形に合わせて体や頭の向きを変えながらでてきます。  
② 頭の一番小さい部分(頭頂部)から出ることができるよう体を小さく丸めます。  
③ 頭の骨を重なり合わせて頭囲を1cmくらい小さくします。  
誰かに言われたわけではないけれど、安全に産まれることができるように工夫しているよ。すごよね!

自然分娩の他に帝王切開というお腹に赤ちゃんの窓を作って出産する方法があるよ。帝王切開も手術するのは、お母さんとても緊張するんだよー。赤ちゃんもお腹の外の世界にでもすぐに肺を使って息ができるようにお腹の中で練習をしているよ。自然分娩、帝王切開どちらも素敵ないのちの誕生の方法です。



赤ちゃん人形抱っこ体験♪



産まれてきてくれてありがとう!



【いのちを守る力】  
愛  
知識  
知恵  
勇気(断る勇気)  
思いやり  
やさしさ  
人生力

いのちの始まりの大きさから6年生まで、こんなに成長できたのは産もうと思ってくれた人がいて、誰かから愛情を受けてきたからですよ。一人ひとりが大切な存在です。そのいのちを守るためには正しい知識と知恵が必要です。現代は情報社会ですぐに自分が知りたい情報を得ることができますが、正しい情報ばかりではありません。困ったことや不安な事がある時は信頼できる大人に相談しましょうね。

自分が嫌だなと思うことは断る勇気も必要です。特にプライベートゾーン(水着で隠れる部分と口)は人に触らせたり、勝手に触ってはいけません。プライベートゾーンの事を面白おかしく話すこともよくありません。

また、感情は人それぞれ違います。自分が楽しいと思うことが必ず相手も楽しいこととは限りません。一方通行の思いやりではなく、相手の事を気遣った本当の思いやりややさしさが必要です。

そのためには相手の事を理解しようとする気持ちが大切です。

様々な経験をする中で、失敗してもいい。だけど、失敗した・・・と思った時に、“まあいっか”と流してしまうのではなく、次、失敗しないためにはどうしたらよいかを考える人生力をもった人になってください。

## ～いのちの授業を聞いての感想～

自分たちが赤ちゃんの時には覚えていないが、いろんな工夫や生き方をしているのがすごいと思いました。自分ももしかしたら生まれる方じゃなくて産む方になるときは、赤ちゃんのことをしっかり守れることが大切だと分かりました。赤ちゃんには愛情がないと育たないので、自分も愛情をもらった分、支えないといけないと思いました。

今日の2時間を通して思った事は自分は今まで生きることを当たり前とっていたけど、今こうやって生きていけるということはみぢかな人とか友だちとか親とかがささえてくれていたんだなと思ったし、今まで親とか友だちとケンカをした事はあるけど、それも成長のひとつなのかなと感じた。

今、生きていることに本当に感謝だなんて思いました。  
命は本当に大事だし、赤ちゃんのころから命があるんだと知りました。  
自分が生きていく中で性格、自分のすべてを認めてくれる人が必ずいることがわかりました。  
自分も人への思いやりやさしさを増やしていければいいと思います。  
いのちの授業で本当に自分の心が動かされました。

いのちの授業を学んで思った事はいのちってとても大切だし、お母さんたちが大切な思いでうんでくれたんだなと思いました。なのでこの大切ないのちをあずかったんだなとすごく感じました。  
将来、赤ちゃんを産むのが怖かったりしたから、嫌だなと思ったことがあったけど、やっぱりいのちって大切だと思うし、赤ちゃんの大切でとても小さいいのちを私はみてみたい。

命の大切さについて、より知れたし今ここにることが当たり前じゃないから大切にしたいと思いました。  
これからは今以上に1日1日を大切にしていきたいと思いました。

自分も授業でみた動画のように生まれてきて親に反抗したりケンカしたりしたけど、自分が大切にされてるってことを話で知ったから、これから他の人も自分も大切に暮らしたいです。

自分はずっと運がないと思っていたけど、先生が言った「ここにいるのは奇跡です」という言葉で自分は恵まれているんだなと思ったので、ありがとうございました。

いのちは本当に大切なんだということがわかったし、自分が生まれてきたことも本当にすごいことだったんだということがわかったので、今日はありがとうございました。